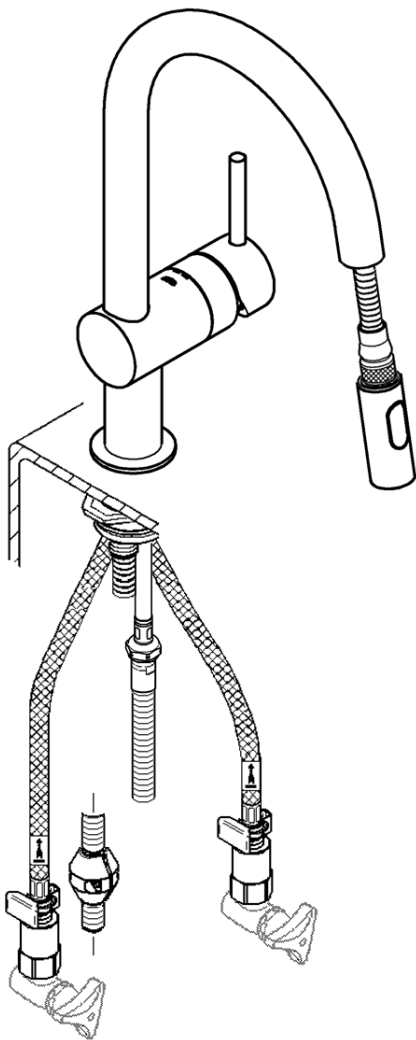
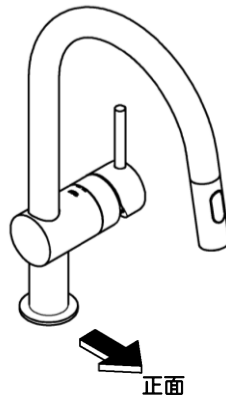


## MINTA シングルレバーキッチン混合栓 ホース引出しタイプ 据付説明書(お客様にお渡しください)

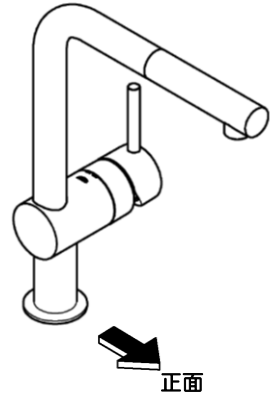
- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。



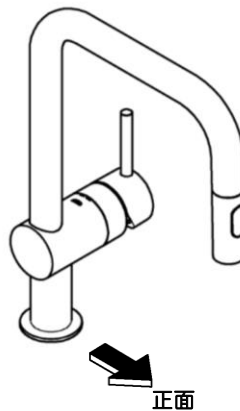
スワン型



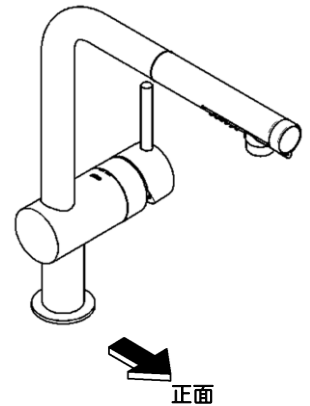
L 型



スクエア



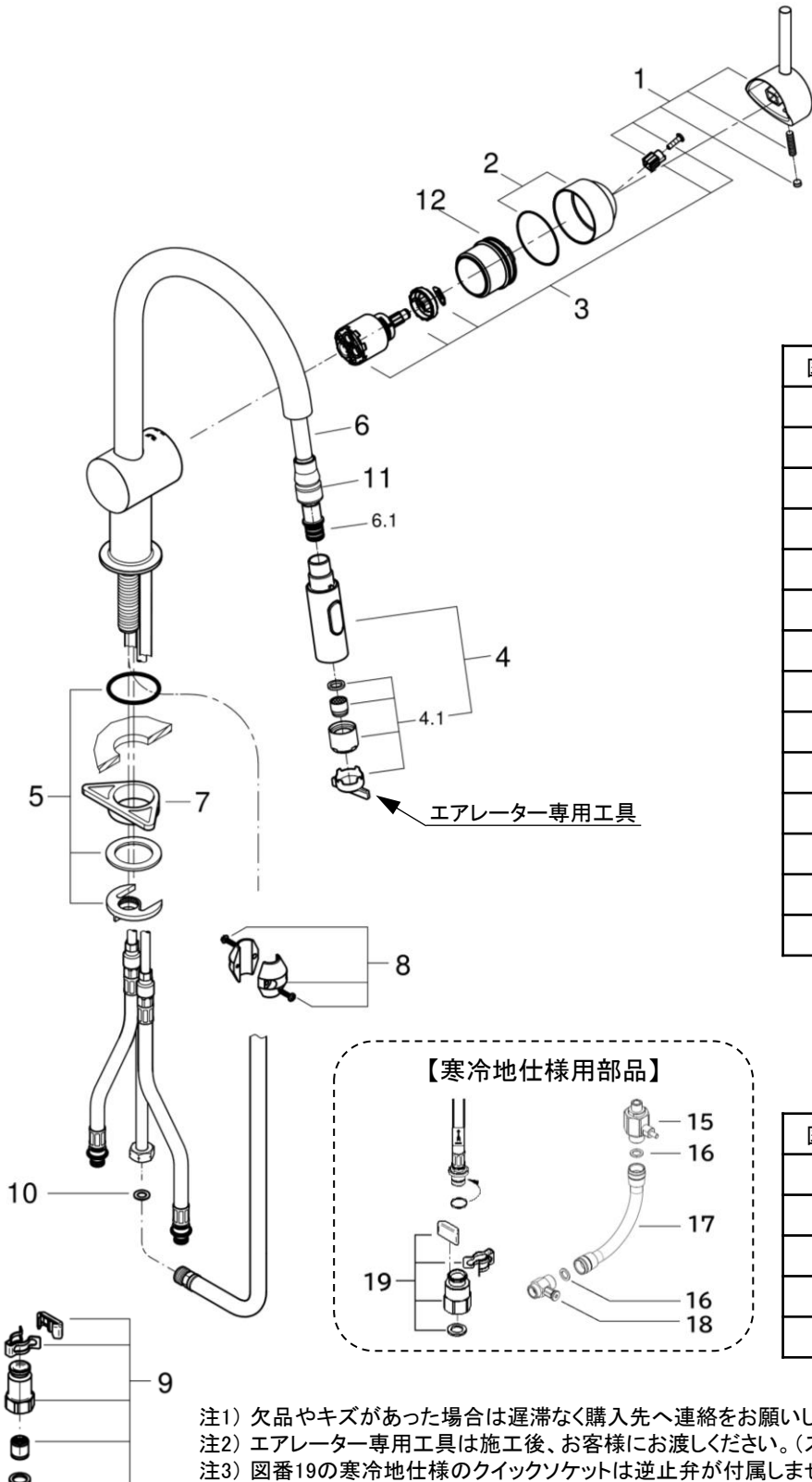
L 型  
切替えタイプ



※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。  
※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。

# 安全上の注意

## 分解図



図番	名称
1	開閉レバー
2	化粧カバー
3	セラミックカートリッジ
4	スプレーヘッド
4.1	エアレーター
5	締付セット
6	引出しホース
6.1	ホースOリング(3本)
7	三角固定板
8	おもり
9	クイックソケット(一般地用)
10	ホースパッキン
11	ホースナット
12	カートリッジ止めナット

### 【寒冷地仕様用部品】

図番	名称
15	ホース逆止弁
16	1/2パッキン
17	寒冷地用短ホース
18	水抜き栓
19	クイックソケット(寒冷地用)

- 注1) 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- 注2) エアレーター専用工具は施工後、お客様にお渡しください。(スワン型・スクエア型のみ)
- 注3) 図番19の寒冷地仕様のクイックソケットは逆止弁が付属しません。  
図番15～19は寒冷地仕様にのみ付属しています。
- 注4) 製品の施工には13mm、19mm、22mm、24mmスパナが必要です。  
寒冷地仕様の施工には32mmまたはレンチ等、プライヤーが別途必要です。  
現地でご用意ください。

## 安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。  
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### ⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

## 使用条件

### ●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa(流動圧)～最高圧力0.74MPa(静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPaを超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

## 据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

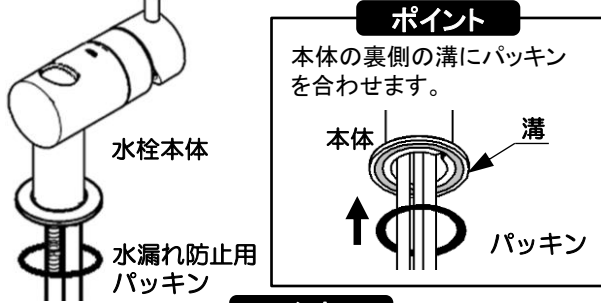
●給水給湯接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

# 据付手順

## 1. 本体の準備

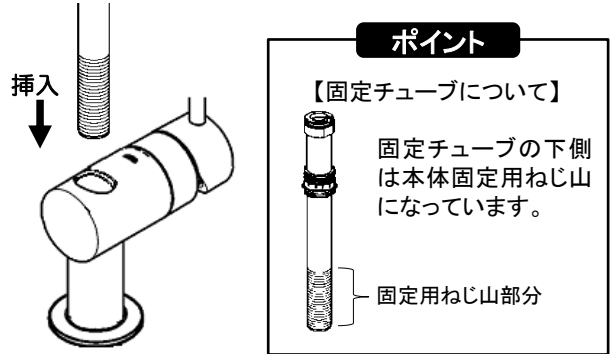
1. 本体に水漏れ防止用パッキンを取り付けます。



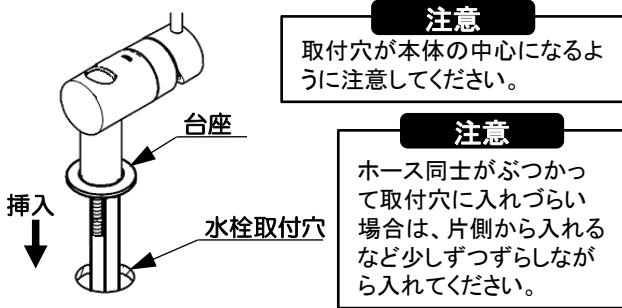
### 注意

パッキンが溝からズレると漏水の原因になりますのでご注意ください。

3. 固定チューブを本体に差し込みます。

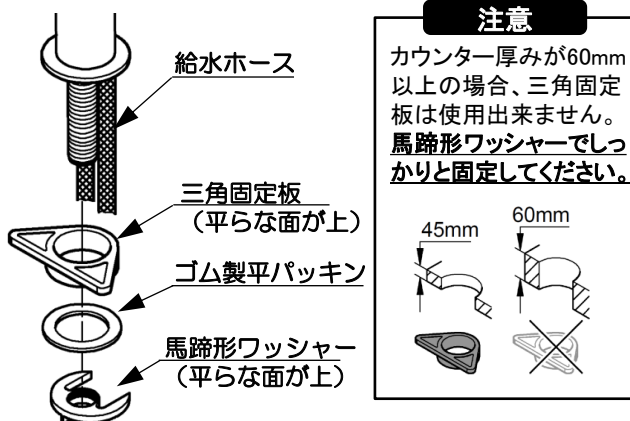


2. 本体をカウンター上部から取付穴に挿入します。

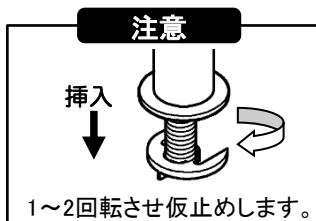


## 2. 本体の固定

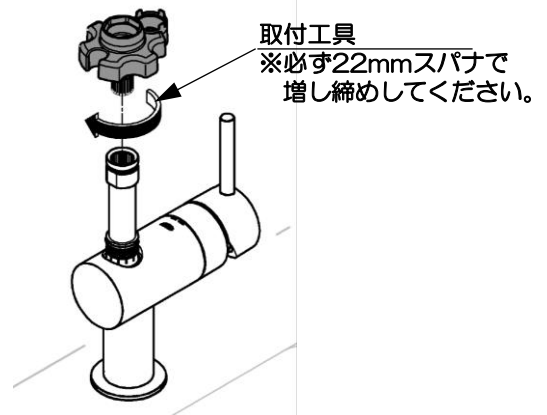
1. 三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーをカウンター下からホースに挿入します。



2. 固定チューブを手で回し、馬蹄形ワッシャーに仮止めします。



3. 取付工具を使って、固定チューブをしっかりとねじこみます。



### 注意

三角固定板・馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていることを確認してください。  
水漏れ防止用パッキンがずれて取付け穴に落ち込まないように注意してください。

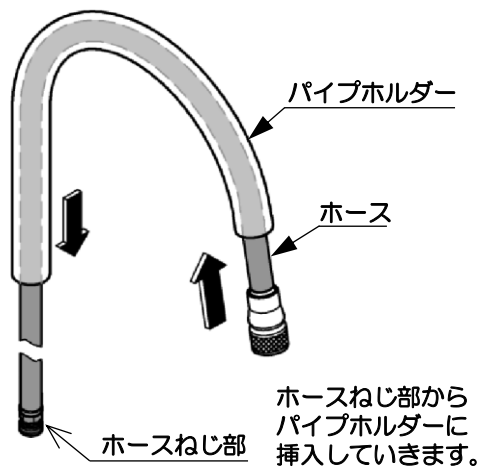
### ポイント

- 固定チューブをしっかりとねじ込んだ後、必ず22mmスパナで増し締めします。  
**締付後、本体にグラつきがないことを確認してください。**
- 水栓本体の台座と馬蹄形ワッシャーが、カウンターをはさみ込み、固定されます。

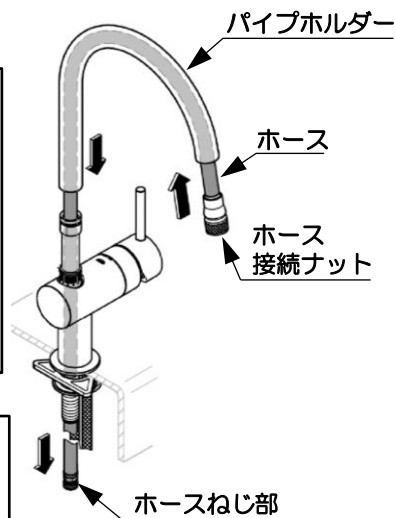
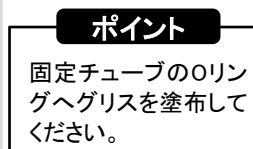
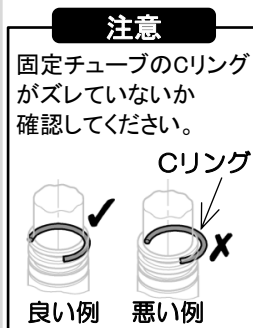
# 据付手順

## 3. パイプホルダーの取付け

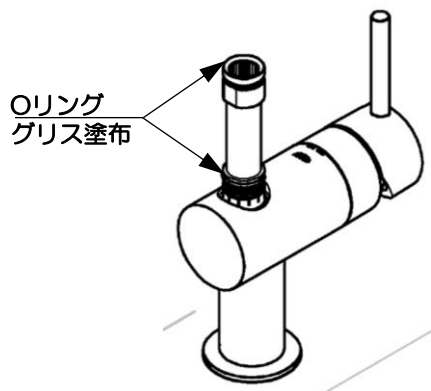
1. パイプホルダーにホースを挿入します。



3. 固定チューブにホースを挿入していき、パイプホルダーを取付けます。



2. 固定チューブ先端のOリングにグリスを塗ります。



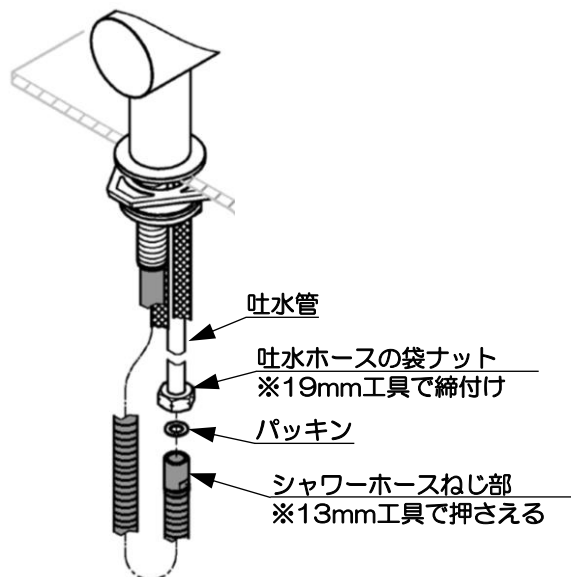
# 据付手順

## 4. 本体の吐水管とホース接続

ホースと吐水管を接続します。※接続方法は付属部品により異なります。

### 一般地仕様の場合

吐水管の袋ナットにホースねじ部を取付けます

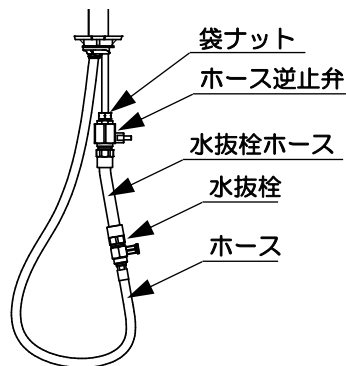


#### 注意

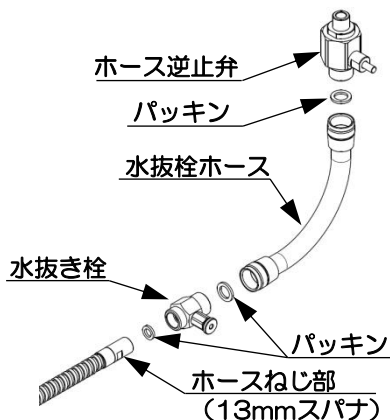
- ・取付けには必ず適切な工具を使用してください。
  - ・締め付け過ぎないでください。
  - ・ホースがねじれないように注意してください。
- ※漏水の原因になります。

### 寒冷地仕様の場合

寒冷地仕様の場合は、袋ナットとホースの間にホース逆止弁、水抜き栓を取付けます。



①ホースに、水抜き栓、水抜き栓ホース、ホース逆止弁の順に取付けます。



②ホース逆止弁に、袋ナットを取付けます。

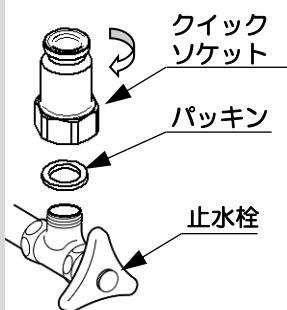
#### 注意

- ・水抜き栓ホースは工具が使用出来ません。手締めでしっかりと取り付けてください。
  - ・パッキンはサイズを確認し、必ず取り付けてください。
- ※漏水の原因になります。

# 据付手順

## 5. クイックソケットの接続

1. クイックソケットを止水栓に固定します。



### 注意

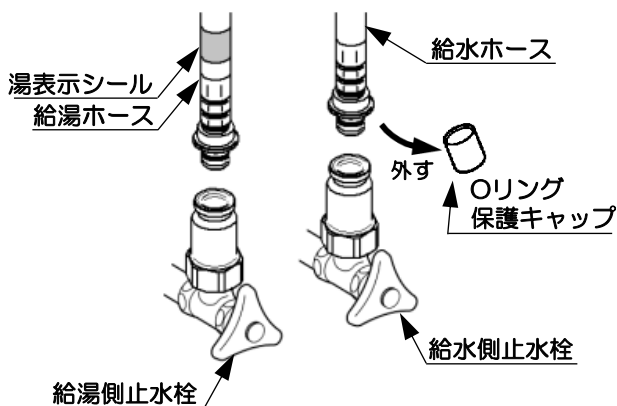


寒冷地用は部品が異なります。

### 注意

パッキンの紛失に注意してください。  
※漏水の原因となります。

2. 給水・給湯ホースをクイックソケットに差し込みます。



### 注意

リングにキズを付けたりゴミかみがないよう注意してください。  
※漏水の原因になります。

### 注意

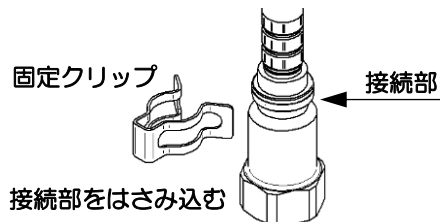
給水・給湯ホースを曲げる場合は、  
曲げ半径60mm以上確保してください。  
※漏水の原因となります。

給水・給湯ホース  
曲げ半径は60mm以上

### 注意

- ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
  - ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
  - ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
- ※漏水の原因になります。

3. 固定クリップを給水／給湯ホースとクイックソケットの接続部にはめ込みます。



接続部をはさみ込む

### 注意

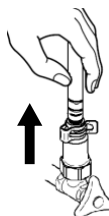


固定クリップでケガをしないようご注意ください。

### 注意

給水・給湯ホースの不要な接触は避けてください。  
※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

### 注意

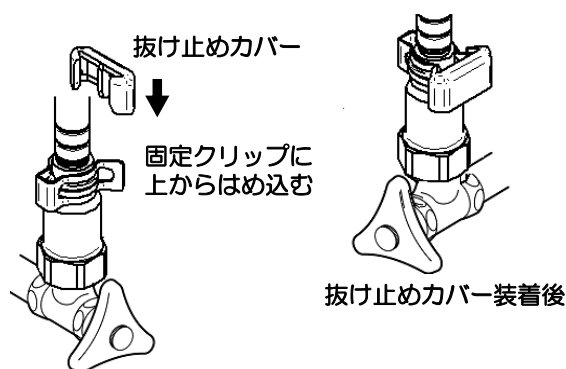


確実に接続されていることを確認してください。  
給水・給湯ホースを上を引き、ソケットから外れないことを確認してください。

### 注意

固定クリップはゆるまないよう、しっかりとはめ込んでください。  
※漏水の原因になります。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



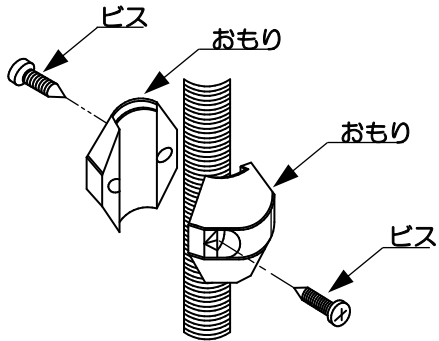
### お願い

配管が設置されておらず、クイックソケットが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

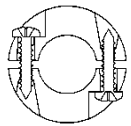
# 据付手順

## 6. ホース用おもりの取付け

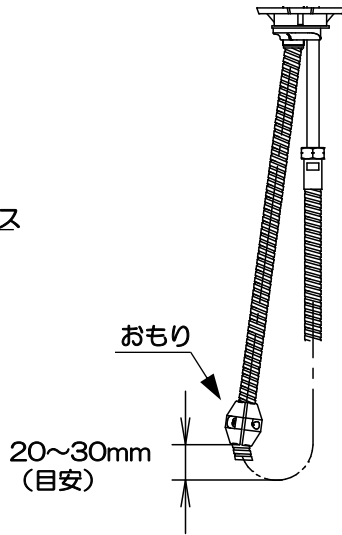
1. スプレーヘッドを吐水口に納めた状態で、おもりをホースに両側からはさみ、ビスで固定します。



### 注意



ビスは両側から交互に止めてください。



### ポイント

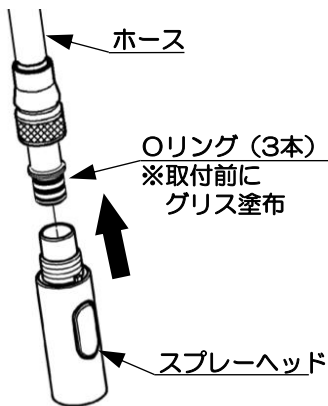
おもりは、スプレーヘッドの納まりをよくするためと、シャワーヘッドを引き出したときのストッパーの役目をします。

### 注意

・おもりの取付けは、引出ホース下部の曲げ位置から20~30mmシャワーヘッド側を目安とし、おもりの干渉や収まりを確認して調整してください。

## 7. スプレーヘッドの取付け

1. ホースをスプレーヘッドに差し込みます。



Oリング (3本)  
※取付前にグリス塗布

### 注意

Oリングがスプレーヘッドにきちんと入るまで差し込みます。

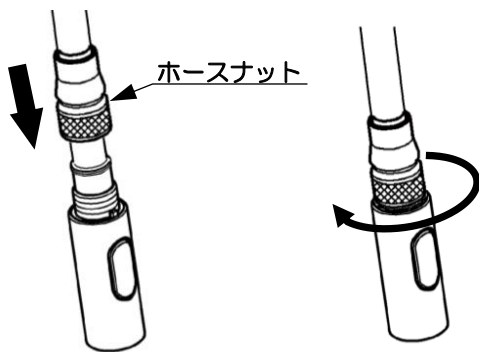


しっかり差し込む

### 注意

スプレーヘッド取付けの際は、ホースがねじれないよう真っ直ぐに差し込んでください。

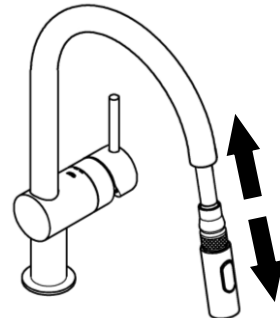
2. ホースナットを締め付けます。



### 注意

ホースナットがホースの根元に最後まで入っていること。しっかり確実に締めつけてください。

3. スプレーヘッドを出し入れし、ねじれや引っ掛かりがなくスムーズに動作することを確認してください。



### 注意

水側・湯側  
ホース

ホース

カウンター下でシャワーホースが水側・湯側ホースと干渉していないことを確認してください。

### 注意

スワン型のスプレーヘッドの切替えボタンは正面設置が基本ですが、ボタンを奥側に収納することも可能です。お客様のご要望を確認して施工してください。

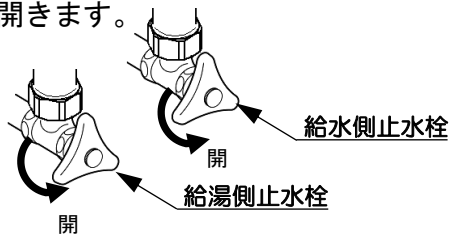
ホースのねじれやゆるみはホース劣化による漏水の原因になります。十分ご注意ください。



# 取付後の確認

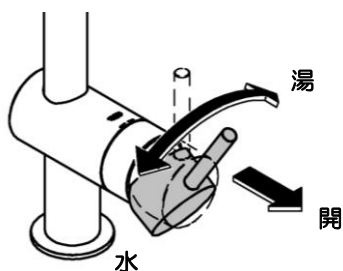
## 1. 通水確認

1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの通水確認と、スプレーヘッドの切替確認をします。

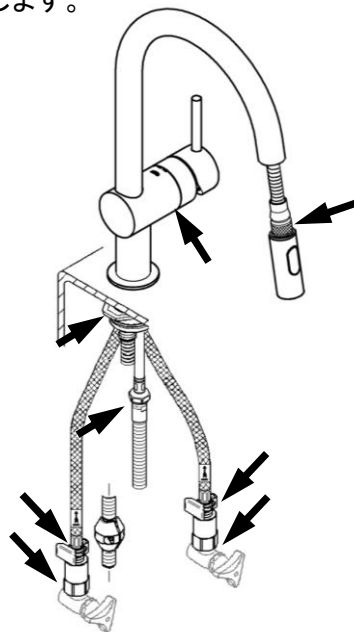
### 湯・水の通水確認



#### 注意

※閉栓すると自動的に整流吐水にもどります。  
※水圧が高い場合は切替操作が重く感じます。

3. 開閉レバーで止水し、接続部からの漏水がないか確認します。



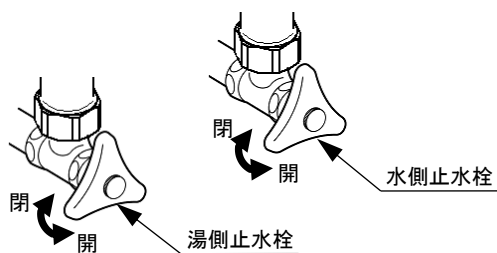
#### 注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

## 2. 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



#### 注意

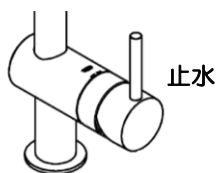
レバーハンドルを全開にしたときシャワーの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)を超える場合は、止水栓で流量調節をしてください。(※1リットルの容器をいっぱいにするのに約7~8秒)

# 取付後の確認

## エアレーター・散水板の清掃

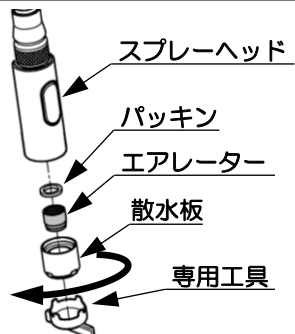
吐出量が少なくなった場合はエアレーター（整流器）のゴミ詰り等が考えられます。  
以下の手順にそって清掃をしてください

1. レバーハンドルを  
止水状態にします。



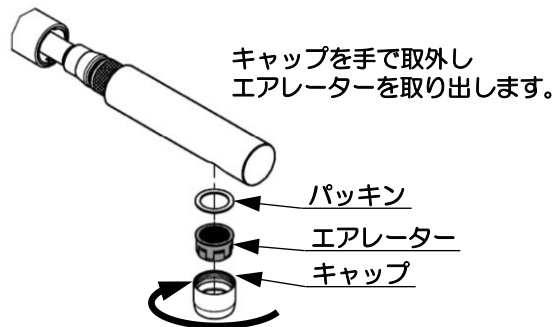
2. 下記の手順でエアレーターを取り出します。

### スワン型・スクエア型の場合



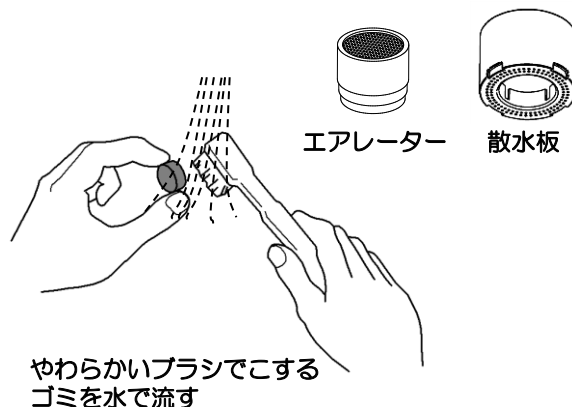
専用工具を使用して  
散水板を取り外し、  
エアレーターを  
取り外します。

### L型（切替えあり・なし）の場合



キャップを手で取外し  
エアレーターを取り出します。

2. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



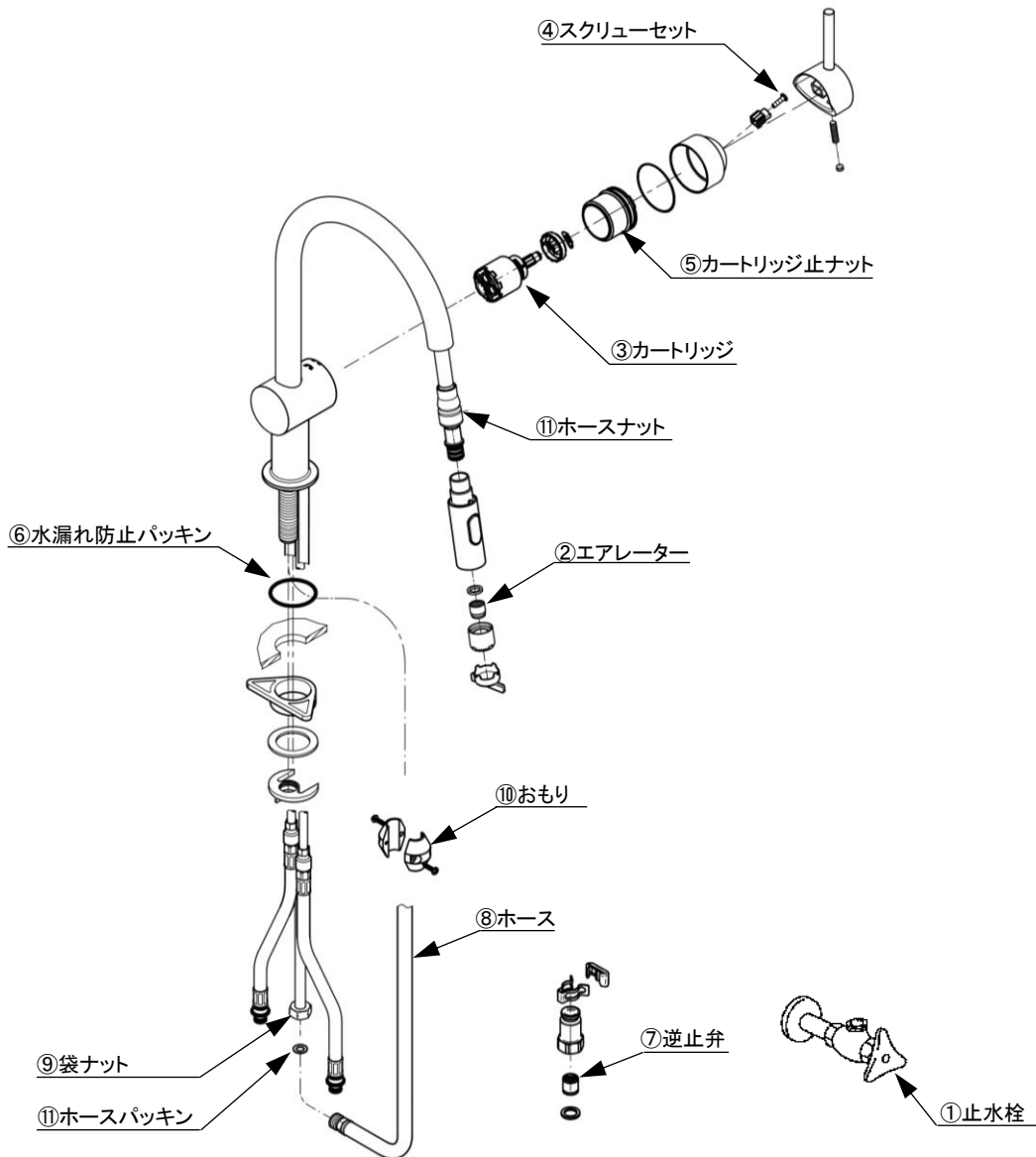
やわらかいブラシでこする  
ゴミを水で流す

### 注意

- ・清掃後は、専用工具を使用して確実にエアレーター、散水板を取付けてください。
- ・取付けの際は、無理に部品をねじ込まないようにして部品の破損にご注意ください。
- ・エアレーターの掃除をする際は、エアレーターをゆるめる前に必ずレバーを止水状態にして行ってください。
- ・改善しない場合はエアレーターセットの交換が必要になります。
- ・引き渡し間もない場合、工事で使用したシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。
- ・清掃後は、確実にエアレーターを取付けてください。
- ・パッキンの紛失にご注意ください。

# 故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	②③⑦⑧	破損・ゴミかみはないか？
水が止まらない	③	破損・ゴミかみはないか？
温度不良	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
レバーがガタつく	④⑤	きちんと取り付けてあるか？
カウンター内の漏水	⑥	きちんと取り付けられているか？
	⑧	破損・ねじれはないか？
	⑨⑪	破損・ゆるみはないか？
ホースが引き出せない	⑩	きちんと取り付けてあるか？

注記：寒冷地仕様には逆止弁がありません。

# グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス<https://www.grohe.co.jp/>